

数学「一次関数」

1 授業のポイント1

授業時間中に思考し続ける工夫

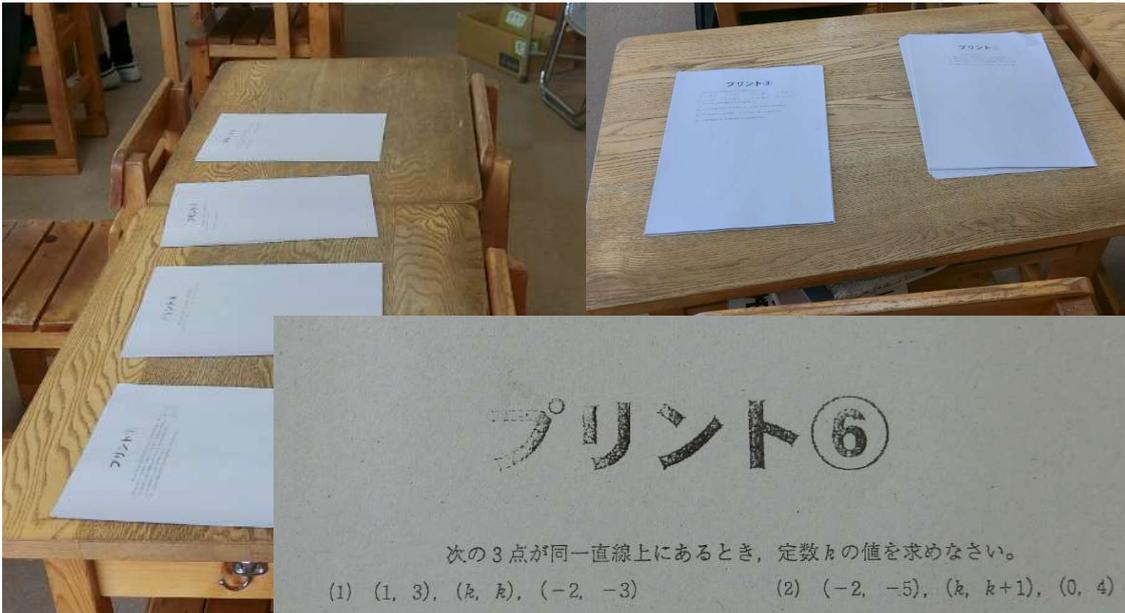
○1枚目のプリントを配布する教師



○次のプリントを取りに来る生徒



○教室の後ろに置かれたプリント。終わった生徒が取りに来ます。



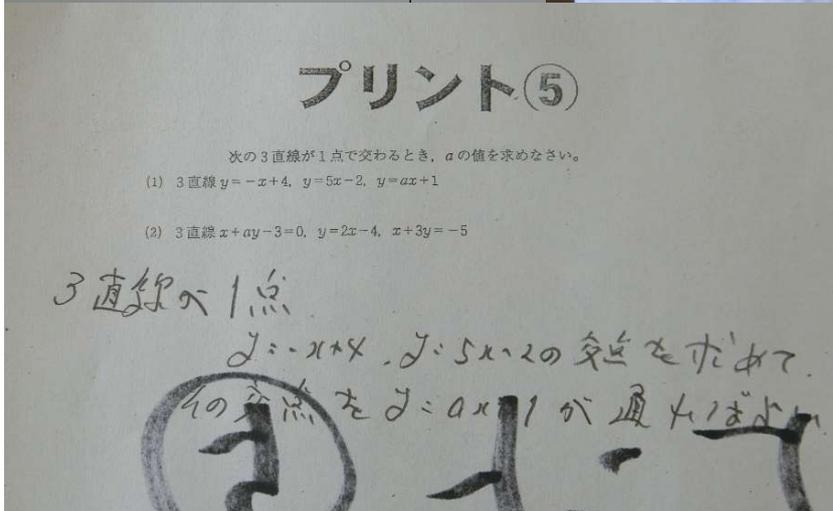
○プリントの問題例①～⑦まで

2 授業のポイント2

個人の能力差に対応する工夫

○ヒントコーナーの設置

○ヒントを見る生徒



←ヒントの例

本時は、1次関数の問題を生徒一人一人が友達と協力したり自力解決したりしながら解いていく時間です。

生徒たちは、自分のペースで、一時間の間、集中を切らすことなく取り組みました。

時折、問題が難しいときは、教師が後ろのホワイトボードに貼っているヒントコーナーに出向いて解決しました。



3 授業のポイント3

教師は、○付けをしながら助言する



この時間の教師の役割は、生徒が正解であるかどうかを判断することになります。また、間違えることもありますから、そのことに対して助言していました。

4 授業のポイント4

友達と協力して問題を解決する



分からない問題に対して助言するのは、教師ばかりではありません。

寧ろ友達と一緒に考えた方が理解しやすいかもしれません。

全ての問題を解決できた生徒は、まだ終わっていない生徒に対して、優しく助言していた姿が印象的でした。